

令和2年10月12日

名古屋美容専門学校
校長 塚本 紀之 殿

名古屋美容専門学校 学校関係者評価報告書

学校関係者評価委員会
委員長 加藤 万寿夫

令和元年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1. 開催日時：令和2年10月6日（火）9：45～11：15

2. 場 所：名古屋美容専門学校 3F応接室

3. 参加者：11名

学校関係者評価委員

加藤 万寿夫	業界関連	株式会社コンフェティ 代表取締役社長
中野 享	業界関連	ラパンセ エリアマネジャー
越中 洋人	教育の知見者	株式会社ライセンスゲーム 名古屋支社長
蟹江 咲帆	卒業生	サムデイ アシスタント
片山 真由美	保護者	

学校教員・事務員

塚本 紀之	校長
光部 達也	事務課長
垣本 勝三	広報係長
前田 利夫	教務主任
近藤 龍起	学年主任
下田 智子	就職担当

4. 実施方法：自己点検評価報告書を基に、基準項目ごとに説明と取り組みを聞き評価を行った。（各委員に自己点検評価報告書等は事前に送付済み）

評価項目	評価	評価項目	評価
(1) 教育理念・目標	4	(6) 教育環境	4
(2) 学校運営	4	(7) 学生の受入れ募集	4
(3) 教育活動	4	(8) 財務	4
(4) 学修成果	3	(9) 法令等の遵守	4
(5) 学生支援	4	(10) 社会貢献・地域貢献	3

[評価基準] 適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

I 重点目標について

コロナ禍でイベントやコンテストが従来通りできにくい状況ではあるが、本校職業教育のベースとなる事柄を丁寧に行っていく。名美専はブランド樹立の段階に入っており、そのためには国家試験の高い合格率の常態化、コンテスト成果、第一希望サロンへの就職率75%に向けた指導に加えて包括的な職業実践教育の展開が必要であり、これらの課題を意識して、教育の改善に取り組んでいく。

II 各評価項目について

1 教育理念・目標

- ・建学の精神を基本として、学校方針、3つのポリシー、基本的指導の3項目という展開を図り、保護者や学生に周知している。継続的にこの教育をすることが重要と考えている。名美専のカラーはサロン関係者にしっかり感じられていると思います。

2 学校運営

- ・情報化についての現状確認と課題について説明がありました。情報化を活用した効率化が意識されており、改善も加えられています。常に意識を高く持っていることがわかりました。

3 教育活動

- ・常に産業界の変化を取り入れようとしている姿勢が感じられました。他校に勝る①国試指導、②コンテスト成果、③就職実績ができており、また、新たな資格取得にも挑戦していることがわかりました。

4 学修成果

- ・国試合格率および就職率、退学率ともに他校より高いが、さらに上を目指す姿勢が強く感じられました。評価は3とさせていただきますが、他校より高いレベルだと思います。

5 学生支援

- ・先生たちが限られた時間の中で複数の支援をバランスよくやっていくことは大変だと思いますが、学内での配分をご検討いただければと思います。

6 教育環境

- ・職業実践的教育のレベルの向上を目指すとの言葉がありました。産学連携などではサロンとしても学校を応援する所存です。
- ・学校が中心となりサロンを教育の中に入れてくれています。クリエイティブ・ワークやセミナー、インターンシップなど学校がいろいろな教育を工夫して提供しています。良いと思います。
- ・名美専の産学連携は学生の職業意識形成や、意欲の向上に役立っていると思います。

7 学生の受入れ募集

- ・この少子化の時代に定員一杯を集めることは大変だと思います。特に問題ありません。良いと思います。

8 財務

- ・特に問題ありません。良いと思います。

9 法令等の遵守

- ・特に問題ありません。良いと思います。

10 社会貢献・地域貢献

- ・複数の社会貢献やボランティアに参加しており、よくやっていると思います。学校では国試指導、コンテスト、就職指導を重視しており、ボランティアはバランスの中でやっているようです。それで良いと思います。
- ・社会貢献は単発ではなく継続することが重要と考えます。

11 国際交流

- ・毎年、卒業後に留学する者が2, 3名いるとの報告を受けました。現在やっているサスーンを中心に展開されることを期待します。

III その他

- ・コロナ禍ではあるが、高校生の進路に大きな変化はないとの報告があった。またサロン側も6月以降は昨年並みには回復している店舗が多く、この地区での採用意欲は維持されている。名美専の人気は高校生、サロンの両方から維持されていると思います。
- ・学校は「職業実践」という言葉を使い、本物に近い教育を強調されていました。サロンでできることは可能な限りご協力するので教えてください。
- ・名美専を応援したいと思っているサロンは多いと思います。クリエイティブセミナーでもインターンシップでも卒業生講座でも条件が許せば協力します。

以上